

世界第三位の高峰をベースキャンプより間近に望む

カンチェンジュンガ・ベースキャンプと ジャヌー展望トレッキング 29日間

発着地 東京・大阪・名古屋・福岡

ネパールとインド（シッキム州）の国境にそびえる世界第3位の高峰カンチェン・ジュンガの北面を仰ぎ見るコース。毎日の歩行距離が長いので、健脚の方向きのコースです。高山病に対する注意も必要。



▲1日の行程が長い健脚向けコース



▲長い道のりをパンベマに向かって進む

出発日～帰国日	旅行代金	出発日～帰国日	旅行代金
10/22(土)～11/19(土)	¥648,000	4/18(水)～5/16(水)	¥632,000
3/21(水)～4/18(水)	¥632,000		

●燃油サーチャージ（2011年8月20日現在：目安約17,000円～37,000円）が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
●ビザ：ネパール／ビザ申請料約7,200円（2011年8月現在／手数料・消費税込み）が別途必要です。

●利用予定航空会社：タイ航空、シンガポール航空、大韓航空、エアインディア、中国国際航空、中国南方航空、中国東方航空、日本航空、全日空 ●ツアーリーダー：カトマンズからカトマンズまで同行します。添乗員は同行しませんが、出発日、発着地によってはツアーリーダーが全行程同行します。 ●最少催行人数：10人 ●食事：朝26回、昼24回、夕24回 ●利用予定ホテル：Bクラス以上。P.6掲載の利用予定ホテルリストをご参照ください。 ●一人部屋利用追加料金：¥78,000（ロッジ泊、テント泊を含む）

●トレッキング：現地ガイド、コック、ポーター同行 ●行動範囲：921m～5,143m、最高宿泊地5,143m、高山病の影響あり。 ●健康診断：このコースは標高3,800m以上の高所に宿泊しますので当社所定の健康診断を受けていただけます。

日程	発着地	スケジュール / 食事【宿泊地】
1	各地 発着 東南アジア経由地 着	午前、東京・大阪・名古屋・福岡発→東南アジア経由地へ。 機☐【東南アジア経由地泊H】
2	東南アジア経由地 発 カトマンズ 着/発 ビラトナガール 着	午前、東南アジア経由地発→ネパールの首都カトマンズへ。着後、国内線に乗り継いで、ビラトナガール(71m)へ。 ☐機☒【ビラトナガール泊L】
3	ビラトナガール 発 ベディム 着	☒朝、ビラトナガール発、専用車で、イラムを経由してベディム(1,311m)へ(専用車約10時間)。 朝☒☒【ベディム泊L】
4	ベディム 発 タブレジュン 着	☒朝、ベディム発、専用車でタブレジュン(1,780m)へ(専用車約7時間)。 朝☒☒【タブレジュン泊L】
5	世界第三位の高峰 カンチェンジュンガ・ ベースキャンプと ジャヌー展望 トレッキング	⑤ミトルン(921m)(徒歩5時間)⑥チルワ(1,270m)(徒歩約6時間)⑦セカトム(1,660m)(徒歩約5時間)⑧アムジラッサ(2,510m)(徒歩約5時間)⑨ギャブラ(2,730m)(徒歩約5時間)⑩グンサ(3,595m)(徒歩約6時間)⑪グンサ滞在⑫カンパチェン(4,090m)(徒歩約6時間)⑬カンパチェン滞在⑭ロナーク(4,785m)(徒歩約6時間)⑮パンベマ(5,143m)(徒歩約4時間)カンチェンジュンガ北壁を仰ぎ見るベースキャンプです。⑯日程調整日⑰ロナーク(徒歩約3時間)⑱カンパチェン(徒歩約4時間)⑲グンサ(徒歩約5時間)⑳ボレ(徒歩約2時間)㉑アムジラッサ(徒歩約7時間)㉒チルワ(徒歩約8時間)㉓ミトルン(徒歩約5時間) 朝19☒19☒19【テント泊T】
24	ミトルン 発 タブレジュン 着	★ミトルンより往路を戻り、タブレジュンへ(徒歩約5時間)20日間に渡るトレッキングの終了。 朝☒☒【タブレジュン泊L】
25	タブレジュン 発 イラム 着	☒朝、専用車でベディムを経由して、紅茶で有名なイラムへ(専用車約12時間)。 朝☒☒【イラム泊L】
26	イラム 発 ビラトナガール 着/発 カトマンズ 着	☒朝、イラム発、専用車でビラトナガールへ(専用車約5時間)→国内線で空路、カトマンズへ。 朝☒☒【カトマンズ泊H】
27	カトマンズ 滞在	カトマンズ滞在。フライト準備日。 朝☒☒【カトマンズ泊H】
28	カトマンズ 発 東南アジア経由地 着/発	午後、カトマンズ発→東南アジア経由地へ乗り継ぎ、東京・大阪・名古屋・福岡へ。機中泊。(出発日、発着地、利用航空便によっては東南アジア経由地泊)。 朝☒機☐【機中泊または東南アジア経由地泊H】
29	各地 着	午前、東京・大阪・名古屋・福岡着。(出発日、発着地、利用航空便によっては朝、東南アジア経由地発→午後、東京・大阪・名古屋・福岡着)。 機

※航空会社の都合や現地事情により日程は一部変更される場合があります。

世界第三位の高峰カンチェンジュンガを目指す

このコースは長期にわたるスケールの大きな山旅です。前半は低所でのアップダウンの多いルート、後半は標高差のあるキャンプ地間の移動があります。高山病対策として、高度順応日を多めに設けておりますが、体調管理や体力が求められるハードコースです。最終目的地のパンベマは標高5,143mあり、超高所での宿泊になります。



▲カンパチェン付近からジャヌー(7,710m)北壁を仰ぐ



▲パンベマ(5,143m)から望む巨峰カンチェンジュンガ(中央左・8,598m)

カン
チェ
ン
ジュ
ン
ガ

19
日
間
以
上